兵庫県立森林大学校広報コンテンツ制作等業務委託仕様書

1 事業名

兵庫県立森林大学校広報コンテンツ制作等業務

2 事業目的

森林大学校では、森林・林業の専門知識及び技術を学べる西日本唯一の専修学校として、次代の森林・林業を担う人材の養成、森林に関わる人材等を幅広く育成し、県内における森林・林業分野の維持・活性化に貢献している。

平成 29 年 4 月の開校以来 102 名の人材を輩出してきた一方、近年の少子化や他業種の求人増加、本校の知名度の低さなどにより、令和 6 年度から入学者が減少傾向にある。

そこで、本校では入学者獲得を目的としたブランディングを行い、森林・林業を基盤に社会での活躍を目指す人材の確保を進めることとしている。

本業務では、別紙に示したブランディングのためのメインコピーとボディコピーを軸として広報戦略を策定したうえ、別途制作する県ホームページの森林大学校ページ（サブサイト）に載せるためのコンテンツの制作等を行い、本校の魅力を発信し、次代の森林・林業を担う入学者の獲得に繋げることを目的とする。

なお、メインコピーとボディコピーについては仮設定のものであり、事業者決定後、提案のあった広報戦略と調整の上、修正を図るものとする。

3 事業期間

契約締結の日から令和 8 年 3 月 31 日まで

4 委託料

金 4,000,000 円以内（消費税及び地方消費税額を含む）

5 業務内容

受託者は、事業目的の達成に向け、広報戦略とそれに基づく広報手法について提案し、委託者と協議して実施すること。具体的な広報手法について、媒体、内容、回数など、具体的に提案すること。なお、提案にあたっては、下記の内容を必須とし、他に効果的な広報手法がある場合は、その媒体や効果等、具体的な内容について提案すること。

(1) 広報戦略の策定

事業目的を踏まえつつ、森林・林業を取り巻く現状課題や若者世代の心理行動特性、他学校との比較などの複合的な分析を行い、次年度以降も見据えた中長期的な視点で広報戦略を策定すること。

なお、この広報戦略は、以下のコンテンツ制作を体系的に行うことためのものであるため、補足する。

(2) コンテンツの作成

(1) で制定した広報戦略に基づき、コンテンツを制作する。

ア 仕様

- ・コンテンツを8点以上制作すること。
- ・コンテンツの内容は写真や記事、グラフィック、動画など種類を問わない。

イ 留意事項

- ・コンテンツに写真やグラフィックを使用する場合は、原則として本事業で撮影及び制作したものとする。やむを得ず、そのほかの写真等を使用する場合は、委託者と協議の上、権利関係に問題が無いことを保証すること。

ウ 制作物にかかる作業等

- ①企画、構成、制作業務
- ②取材、写真撮影、画像収集業務
- ③校正・校閲業務

(3) 森林大学校ポータルサイトのディレクション業務

ア 内容

ポータルサイト制作事業者に対して、(1) で制定した広報戦略に沿ったサイトデザインとなるよう指揮・指導し、(2) で作成したコンテンツの活用を前提とした企画のチェック及び進行管理などを行うこととする。

(4) 学校紹介タブロイド紙の作成

ア 仕様

- ①サイズ：タブロイド判 (273mm × 横 406mm) を基本の大きさとする。
- ②頁数：4 ページ相当を基本のページ数とする。森林大学校の魅力が伝わることを考慮し、最も適した頁数を提案すること。
- ③部数：10,000 部
- ④色数：オールカラー
- ⑤紙質：問わないが、紙面が見やすい、利用しやすいものとする。
- ⑥校正：内容・文字校正 4 回程度

イ 構成

下記ア～オを参照のうえ、より手にとってもらいやすい魅力的な内容及びデザインはもとより、媒体特性を意識したデザインで読みやすく分かりやすい優れた構成案により作成。

- ①表・裏紙
- ②目次
- ③学校の概要・特徴
- ④在校生や卒業生を紹介する特集
- ⑤学生に対する学費や住居への支援等に関する内容

※必須掲載内容：①学校名、学校概要（所在地、TEL・FAX、E-mail、ポータルサイトの URL）等

②学校の魅力を端的に伝えるタグライン

※注 意：PDF 形式 A4 サイズおよび ai.形式 A4 解像度 350dpi で併せて納品

を求める。掲載のデザインから一部変更を求める場合もあるため、納品データのデザインについては委託者と相談の上決定すること

ウ 製作物にかかる作業等

- ①紙面企画・校正・製作業務
- ②校正・校閲業務

エ 条件

タブロイド紙の制作にあたっては、下記条件を踏まえ提案を行うこと。

- ①高等学校生や大学生など若者や転職検討中の者を軸として、森林大学校の特徴や森林・林業の魅力等を効果的に伝え、入学検討の動機付けとなる内容にすること。
- ②アウトドアショップやカフェなどの飲食店等にもパンフレットを置くことを念頭に、従来の学校案内のイメージにとらわれず、自然やレジャーに興味がある人等ターゲットとなり得る層が手に取りやすいデザインとすること。
- ③掲載する内容や各ページレイアウト等を工夫し、ターゲット層の目線に立った誌面とすること。
- ④納品までの適正なスケジュール、工程を提案すること。
- ⑤デザインは、追加案を求める場合がある。モデル撮影・イラスト新規作成を求める場合があるので、あらかじめ予算措置を行うこと。
- ⑥（２）で制作したコンテンツを活用して紙面制作を行うこと。

(5) SNS のディレクション業務

森林大学校が運営する Instagram 及び Facebook について、効果的な発信となるよう、企画のチェック及び指導を行うとともに、（２）で制作したコンテンツについて SNS に適した形で投稿を行うこと。

6 打合せ

(1) 日時

- ・初回打合せは10月14日を予定している。あらかじめ予定確保しておくこと。
- ・その後、必要に応じて日程調整を行い実施

(2) その他

- ・ポータルサイト制作事業者が制作中のサイトと、本契約で作成する成果物とのデザインの整合性を持たせるため、ディレクション業務としてポータルサイト制作事業者を含む打合せを実施する。

7 実績報告

(1) 業務完了報告書・成果物の提出

- ① 業務完了報告書（兵庫県が指定する様式）
- ② 5（２）で作成したコンテンツのデータ
- ③ 5（４）で作成した以下のデータ及び印刷物

様式	数量
タブロイド紙	フルカラー 10,000 部
PDF データ	1 式

(2) 提出期限 令和8年3月31日(火)

8 動画制作・納品する場合の留意点

- (1) BGM等の音楽素材を使用する場合は、基本的にオリジナルかフリー音源を使用し、著作権の問題が発生しないようにすること。著作権等の許諾が必要な場合の手続きは受託者にて行うこと。
- (2) 出演者を起用する場合は、肖像権等の問題が発生しないものとし、権利処理や、出演料の支払い等の手続きは受託者にて行うこと。
- (3) 動画について、動作確認を十分に行うこと。
- (4) 動画作成においては、基本的に受託者の設備及び機器を使用すること。
- (5) 撮影を必要とする場合は、実績のあるカメラマンにて行うこと。
- (6) ソフトウェア等についても、受託者が調達し、管理・運用を行うこと。
- (7) 業務実施にあたり、受託者はデータの漏洩、データの滅失、事故等の予防に十分留意し、業務の信頼性及び安全性の確保に努めること。
- (8) 業務実施による成果物は、全て委託者の権利に属するものとする。
- (9) 納品は、動画データの形態にて最適な解像度でおこなうこと。
- (10) 本紙に記載のない事項であっても、業務の性質上当然実施しなければならないもの及び業務の遂行に必要な事項はすべて実施するものとし、これを従事者に周知徹底の上、業務遂行に当たること。
- (11) トラブル発生時には、迅速な対応により回復を図ること。
- (12) 業務の実施に伴い、適用を受ける法令、規定、基準、指針等については、これを遵守し、遺漏のないようにすること。

9 業務実施上の注意事項

- (1) 契約の締結
本業務の目的達成のため、委託者の指示により仕様書の内容の追加、変更を行う場合がある。
- (2) 業務の進捗管理
本業務の進め方について、受託者は、委託者と密に協議、連絡調整を行い、適切なスケジュール管理を行うこと。
- (3) 業務の履行に関する措置
本業務の履行については、委託者の指示に従うこと。
- (4) 成果物の利用（二次利用）
業務の成果品の所有権、著作権、利用権は、委託者に帰属するものとし、委託者は本業務の成果品を期間の制限なく無償で、自ら使用するために必要な範囲内において、あらゆる媒体、手段・方法により公開・放送等に随時利用するとともに、編集・改変を行うことができるものとする。
- (5) 業務完了後の瑕疵
業務完了後に、受託者の責任に帰すべき理由による成果品の不良箇所があった場合

は、受託者は速やかに必要な訂正、補足等の措置を行うものとし、これに対する経費は受託者の負担とする。

(6) 納品データの安全管理

データについては、情報漏洩や滅失、毀損の防止、その他適正な管理のために必要な映像情報の管理、運営措置を講じなければならない。また、電子媒体によるデータ納品については、ウイルス対策ソフトにより検査した上で納品すること。納品物が納品時点でウイルス感染していることにより、委託者又は第三者が損害を受けた場合は、全て受託者の責任と負担により、原状回託及びその他賠償等について対応すること。

(7) 機密の保持

受託者は本業務を通じて知り得た情報を契約以外の目的に利用し、第三者に提供してはならない。また、本業務に関して知り得た情報の漏洩、滅失、毀損の防止、その他適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。契約終了後もまた同様とする。

(8) 個人情報の保護

受託者は、本業務を履行する上で個人情報を取り扱う場合、兵庫県個人情報保護条例を遵守しなければならない。

(9) 著作権等の取り扱い

この契約により作成される成果物の著作権等の取り扱いを、以下のとおり定める。

① 本業務において制作された成果物の著作権（著作権法（昭和45年5月6日法律第48号）第21条から第28条までに規定する権利）は、契約期間に関わらず、委託者に帰属する。

② 委託者は、著作権法第20条（同一性保持権）第2号第3号又は第4号に該当しない場合においても、本業務目的の範囲において、仕様書等で指定する物等で指定する物件を改変し、また任意の著作者名で任意に公表することができるものとする。

③ 委託者の書面による事前の同意を得なければ、著作権法第18条及び第19条を行使することができないものとする。

(10) 第三者の権利侵害の禁止

本業務の履行に関し、第三者の肖像権、所有権、著作権を侵さないこと。また、第三者との間に著作権等に係る権利侵害の紛失等が生じた場合は、受託者の責任及び負担において対応し、委託者は責任を負わないものとする。

(11) 再委託

受託者は、本業務の全部又は主体的部分（総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分）を一括して第三者に委任し、又は請け負わせること（以下「再委託」という。）はできない。

また、本業務の一部を再委託してはならないが、あらかじめ再委託の相手方の住所、氏名及び再委託を行う業務の範囲等を記載した再委託の必要性がわかる書面を県に提出し、県の書面による承認を得た場合は、県が承認した範囲の業務を第三者（以下「承認を得た第三者」という。）に再委託することができる。

なお、再委託をする場合は、再委託した業務に伴う承認を得た第三者の行為につ

いて、受注者は県に対し全ての責任を負うものとする。

(12) その他

- ① 受託者は、業務の実施に関して、この仕様書に記載のない事項又は業務の実施に関して疑義が生じた場合は、委託者と協議し、その指示に従うこと。
- ② 受託者は、委託業務の終了後、実績報告書を作成し、委託者に提出すること。